

# 謹んで新春の お喜び



## 新しい益城町への一步 を踏み出す一年に！

益城町議会議長 渡辺 誠男

新年明けましておめでとうござい  
ます。

町民の皆様には、希望に満ちあふれ  
た輝かしいお気持ちで新年を迎えられ  
たことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年6月の定例議会におきまして、  
山内前議長のあとをうけ就任させてい  
ただき、微力ながら私なりに町民の皆  
様の付託に応えるべく努力をしまいい  
りました。議会の活性化につきましては、  
常に検討を行っており、昨年は協議・  
調整を行う場としての全員協議会に関  
する会議規則の改正を行いました。

また議会運営や議事運営についての見  
直し等の検討を今後とも怠りなく続け  
る必要があると思っております。

一昨年より合併協議会が設置され、  
町の将来を左右する大きな問題であつ  
た熊本市との合併につきまして、昨年  
の4月に「熊本市との合併の是非を問  
う住民投票」が実施され、合併反対が  
過半数を占めたことにより、今後とも  
「益城町」として歩むことになりました。  
た。

私たち町議会としても、益城町  
が将来とも「益城町」として発展して  
いくために、更なる努力を重ねること  
が肝要であると責任の重さを痛感して  
おります。

国は昨年8月の衆議院選挙において  
民主党が政権与党となり、いままで自  
民党政権の下で進められていた既存の  
施策や公共事業が大幅に見直されてお  
り、地方の町村も少なからずその影響

を受けることとなります。

今後さらには補助金の削減や地方交  
付税の見直しを行うことが予想され、  
町財政を取り巻く状況は年々厳しく  
なっているのも事実です。

地方分権がさらに進められる中で、  
少子高齢化社会の歯車をうまく噛み合  
わせながら町民の福祉向上と地域の活  
性化を図っていくことは大変なことデ  
はありますが、執行部との連携をとり  
ながら進めていくことが必要であると  
考えております。

一方、まちづくり交付金事業として  
図書館を含んだ交流情報センターが昨  
年4月にオープンし、多くの町民の皆  
さんや子どもたちが利用していると  
伺っております。更なる拠点づくりを  
図り豊かな想像力や感性を育む場にな  
ることを期待します。

また、今後も地域の活性化をはかる  
ため市街化調整区域の既存集落内開発  
制度の活用、地区計画による工場の誘  
致と雇用の確保など継続して促進され  
ることを望むものです。

私たち議員は町民の代表としての責  
務と役割の重大さを深く自覚し、単独  
による「益城町」の重要課題に一生懸  
命取り組んでまいる所存であります。  
今後とも変わらぬご支援、ご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様の  
ご健勝とご多幸を心からご祈念申し上  
げ、新年のごあいさつといたします。